会計	一般会計	議案ページ	226～227

（単位：千円）

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	02	教育委員会事務局費

事業名	教育振興対策推進費	所管課・室	学校教育課

区　分	金　額	財　源　内　訳						
		国庫支出金	県支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	その他	市債	一般財源
本年度予算額	74,691	150	1,746	0	0	0	0	72,795
前年度予算額	81,382	185	2,217	0	0	0	0	78,980
増　　減	▲ 6,691	▲ 35	▲ 471	0	0	0	0	▲ 6,185

特定財源の説明

（国）ｺﾐｭﾆﾃｨｽｸｰﾙの推進への取り組み事業　　150千円
（県）公立学校における帰国・外国人児童生徒に対するきめ細やかな交付金
1,746千円

目的・期待する効果

様々な人的配置を効果的に行うことで、小中学校の教育振興を進めます。教職員が子どもと向き合う時間を確保することにつながり、大きな教育的効果が期待できます。

事業実施に至る経緯・背景

- ☐ 法令等によるもの
- ☑ 市総合計画等によるもの
- ☐ 議会からの要望、提案等によるもの
- ☐ 市民、自治会等からの要望、提案等によるもの
- ☐ 職員提案等によるもの
- ☐ その他

（理由：　　）

事業概要

（継続）小中学校講師等配置事業　　66,006千円
小中学校に常勤講師、非常勤講師、学習支援員、外国人相談通訳などを配置します。

（継続）スクールソーシャルワーカー配置事業　　2,440千円
複雑な要因によって引き起こされる児童生徒の問題等の解決に向けて専門的な知識を持ったスクールソーシャルワーカーを配置し、学校、保護者、関係機関の積極的な連携を図ります。

（継続）コミュニティスクールの推進への取り組み事業　　453千円

（継続）湖南市現職教員アドバンス研修　　６６１千円
湖南市と連携協定を結んでいる東京学芸大学に市内教員を派遣することにより、指導力を高め、その成果を持ち帰ることによって児童生徒の学力向上を図ります。

（継続）特色ある学校づくり交付金事業　　５００千円
各学校の実情や願い、アイデアによって、学校独自の取組を創出し、学校の活性化、児童生徒の意欲の向上、教員の資質向上を図ります。

主な事業費内訳

節番号・名称	細々節名称等	金額
1　報酬	委員等報酬	1,326
7　賃金	臨時職員	66,006
8　報償費	母語支援員等謝礼	2,623
8　報償費	コミュニティスクール推進委員謝金	253
8　報償費	スクールソーシャルワーカー謝礼	2,440
9　旅費	湖南市現職教員アドバンス研修	661
19　負担金補助及び交付金	特色ある学校づくり交付金事業	500

会計	一般会計	議案ページ	230～231

（単位：千円）

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	06	日本語初期指導振興費

事業名	日本語初期指導教室運営経費	所管課・室	学校教育課

区　分	金　額	財　源　内　訳						
		国庫支出金	県支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	その他	市債	一般財源
本年度予算額	6,618	0	685	0	0	0	0	5,933
前年度予算額	6,715	0	681	0	0	0	0	6,034
増　　減	▲97	0	4	0	0	0	0	▲101

特定財源の説明	（県）自治振興交付金　６８５千円
目的・期待する効果	国籍を問わず日本語初期指導が必要とされる児童生徒及びその保護者の教育支援を行うことで、多文化共生の実現に努めます。外国籍児童生徒の就学と学習効果の向上、保護者の子どもへの教育への関心が高まりが期待できます。
事業実施に至る経緯・背景	☐ 法令等によるもの ☑ 市総合計画等によるもの ☐ 議会からの要望、提案等によるもの ☑ 市民、自治会等からの要望、提案等によるもの ☐ 職員提案等によるもの ☐ その他 （理由：　　）

事業概要

（継続）日本語初期指導教室運営　　６，６１８千円

人口に対する外国人住民登録者数の割合が多く、各学校に設置されている日本語教室だけでは、外国人児童生徒の支援が極めて難しくなったため、国籍を問わず日本語初期指導が必要とされる児童生徒及びその保護者の教育支援を行います。

主な事業費内訳

節番号・名称	細々節名称等	金額
7　賃金	臨時職員	6,333

会計	一般会計	議案ページ	232～233

（単位：千円）

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	07	学校図書館支援センター推進費

事業名	学校図書館支援センター推進事業	所管課・室	学校教育課

区　分	金　額	財　源　内　訳						
		国庫支出金	県支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	その他	市債	一般財源
本年度予算額	4,886	0	0	0	0	0	0	4,886
前年度予算額	6,511	0	0	0	0	0	0	6,511
増　　減	▲ 1,625	0	0	0	0	0	0	▲ 1,625

特定財源の説明

目的・期待する効果

学校教育の質の向上に向けた学校図書館の効果的な活用・運用を図ります。学校図書館支援センターに支援スタッフを、各学校に学校司書を配置し、学校図書館の支援を行うことで学校図書館の機能を高めるとともに、子どもたちにすべての学習の基礎となる読解力を身につけ、学力の向上をめざします。

事業実施に至る経緯・背景

- ☑ 法令等によるもの
- ☑ 市総合計画等によるもの
- ☐ 議会からの要望、提案等によるもの
- ☐ 市民、自治会等からの要望、提案等によるもの
- ☐ 職員提案等によるもの
- ☐ その他

（理由：　　）

事業概要

（継続）学校図書館支援センター推進事業　　4,886千円

学校図書館支援センターによる学校図書館の活用・運営への支援を行う。学校図書館を活用した学習指導・読書活動に係る情報の収集・提供や、学校間や公共図書館との連携を行い、学校図書館の充実を支援します。

主な事業費内訳

節番号・名称	細々節名称等	金額
8　報償費	学校図書館支援スタッフ・学校司書謝礼	3,696
13　委託料	学校図書館システム保守委託	340
13　委託料	学校図書データ作成等委託	638

会計	一般会計	議案ページ	232～233

（単位：千円）

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	08	学校支援地域本部事業推進費

事業名	学校支援地域本部事業推進経費	所管課・室	学校教育課

区　分	金　額	財　源　内　訳						
		国庫支出金	県支出金	分担金負担金	使用料手数料	その他	市債	一般財源
本年度予算額	7,604	0	5,068	0	0	0	0	2,536
前年度予算額	8,313	0	5,277	0	0	0	0	3,036
増　　減	▲ 709	0	▲ 209	0	0	0	0	▲ 500

特定財源の説明

（県）滋賀県学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助金　　５，０６８千円

目的・期待する効果

近年、青少年を巡る様々な問題が発生しており、その背景として「地域の教育力の低下」が指摘されています。また、教員と子どもが向き合う時間を拡充し、多忙な教員を支援することが重要です。地域全体で学校を支援し、地域住民が学んだ成果を子どもの教育に生かし、学校を支援する体制の構築をはかることで、子どもを地域で育てるという機運が高まります。

事業実施に至る経緯・背景

- ☐ 法令等によるもの
- ☑ 市総合計画等によるもの
- ☐ 議会からの要望、提案等によるもの
- ☐ 市民、自治会等からの要望、提案等によるもの
- ☐ 職員提案等によるもの
- ☐ その他

（理由：　　）

事業概要

（継続）学校支援地域本部事業　　５，６９５千円
市内小中学校に地域コーディネーターを配置し、学校を支援します。

（継続）土曜日の教育支援体制等構築事業　　１，１７３千円
土曜日の教育活動の充実のため、地域の多様な経験や技能を持つ人材の協力を得て教育支援体制の構築を図ります。

（継続）放課後こども教室　　７３６千円
各学校毎に学校や関係機関・団体等との連絡調整、活動プログラムの企画策定を行うコーディネーターを配置し、学習活動やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の様々な活動機会の提供等を行います。

主な事業費内訳

節番号・名称	細々節名称等	金額
8　報償費	地域コーディネーター等謝礼	7,073
12　役務費	ボランティア活動保険	305

会計	一般会計	議案ページ	232～233

（単位：千円）

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	09	家庭教育支援活動推進費

事業名	家庭教育支援活動事業	所管課・室	学校教育課

区　分	金　額	財　源　内　訳						
		国庫支出金	県支出金	分担金負担金	使用料手数料	その他	市債	一般財源
本年度予算額	676	0	450	0	0	0	0	226
前年度予算額	535	0	356	0	0	0	0	179
増　　減	141	0	94	0	0	0	0	47

特定財源の説明

（県）滋賀県学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助金　　４５０千円

目的・期待する効果

親への学習機会の提供や相談対応などの家庭教育支援を行い、地域社会全体で様々な教育支援活動を実施し、地域の教育力の向上を図ります。

事業実施に至る経緯・背景

- ☐ 法令等によるもの
- ☑ 市総合計画等によるもの
- ☐ 議会からの要望、提案等によるもの
- ☐ 市民、自治会等からの要望、提案等によるもの
- ☐ 職員提案等によるもの
- ☐ その他

（理由：　　）

事業概要

（継続）　家庭教育支援活動事業　　６７６千円

地域住民等の参画による地域の実情に応じた取り組みを組み合わせて、親への学習機会の提供や相談対応などの家庭教育支援を行います。

主な事業費内訳

節番号・名称	細々節名称等	金額
8　報償費	家庭教育支援員等謝礼	636

会計	一般会計	議案ページ	232～233

（単位：千円）

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	10	道徳教育地域支援事業費

事業名	道徳教育地域支援事業	所管課・室	学校教育課

区　分	金　額	財源内訳						
		国庫支出金	県支出金	分担金負担金	使用料手数料	その他	市債	一般財源
本年度予算額	2,000	0	2,000	0	0	0	0	0
前年度予算額	1,500	0	1,500	0	0	0	0	0
増　　減	500	0	500	0	0	0	0	0

特定財源の説明	（県）道徳教育総合支援事業委託金　2,000千円
目的・期待する効果	学習指導要領に基づいた道徳教育の質の向上とその一層の充実を図り、子どもの基本的な生活習慣・規範意識・人間関係を築く力、社会参画への意欲や態度、伝統や文化を尊重する態度などが育成します。
事業実施に至る経緯・背景	☐ 法令等によるもの ☑ 市総合計画等によるもの ☐ 議会からの要望、提案等によるもの ☐ 市民、自治会等からの要望、提案等によるもの ☐ 職員提案等によるもの ☐ その他 （理由：　　）

事業概要

（継続）道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業　　２，０００千円
　学校・地域の実情に応じて主体的に行う道徳教育に関する多様な取り組みに対して支援を行います。（外部講師の派遣や、保護者・地域との連携、道徳教育にかかる研修等）

主な事業費内訳

節番号・名称	細々節名称等	金額
8　報償費	講師、推進協議会委員謝金等	539
11　需用費	消耗品費、印刷製本費	1,356

会計	一般会計	議案ページ	232～235

（単位：千円）

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	11	インクルーシブ教育事業費

事業名	インクルーシブ教育事業	所管課・室	学校教育課

区　分	金　額	財　源　内　訳						
		国庫支出金	県支出金	分担金負担金	使用料手数料	その他	市債	一般財源
本年度予算額	1,060	353	0	0	0	0	0	707
前年度予算額	3,491	3,491	0	0	0	0	0	0
増　　減	▲ 2,431	▲ 3,138	0	0	0	0	0	707

特定財源の説明	（国）インクルーシブ教育システムの推進事業委託金　353千円
目的・期待する効果	ｲﾝｸﾙｰｼﾞﾌﾞ 教育ｼｽﾃﾑの構築のための特別支援教育の推進を目的とし、障がいのある児童生徒の自立と社会参加の加速化に向けた取組の充実を図ります。また、学校間の連携の強化、充実を図ることが期待できます。
事業実施に至る経緯・背景	☐ 法令等によるもの ☑ 市総合計画等によるもの ☐ 議会からの要望、提案等によるもの ☐ 市民、自治会等からの要望、提案等によるもの ☐ 職員提案等によるもの ☐ その他 （理由：　　）

事業概要

（継続）インクルーシブ教育システム推進事業　１，０６０千円
インクルーシブ教育システムの推進に向けた取組として、特別支援教育専門家（外部専門家、合理的配慮協力員、合理的配慮推進員）を配置し、障がいのある児童生徒に対して、十分な教育を受けられる環境を提供します。

主な事業費内訳

節番号・名称	細々節名称等	金額
8　報償費	合理的配慮協力員等謝金	1,051
12　役務費	合理的配慮協力員傷害保険料	9

会計	一般会計	議案ページ	238～239

（単位：千円）

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費

事業名	教育振興対策推進事業	所管課・室	学校教育課

区　分	金　額	財　源　内　訳						
		国庫支出金	県支出金	分担金負担金	使用料手数料	その他	市債	一般財源
本年度予算額	22,034	0	1,432	1,474	0	145	0	18,983
前年度予算額	34,593	0	1,782	1,279	0	482	0	31,050
増　　減	▲ 12,559	0	▲ 350	195	0	▲ 337	0	▲ 12,067

特定財源の説明

（県）森林環境学習「やまのこ」事業補助金　１，０２０千円
（県）地域ぐるみの安全体制整備推進事業補助金　２１２千円
（県）ホールの子事業補助金　２００千円
（諸）ホールの子事業保護者負担金　１４５千円
（負）日本スポーツ振興センター負担金　１，４７４千円

目的・期待する効果

小学校において、学校行事・授業等で必要となる消耗品・備品等の購入をし、円滑な実施を目指します。

事業実施に至る経緯・背景

- ☑ 法令等によるもの
- ☑ 市総合計画等によるもの
- ☐ 議会からの要望、提案等によるもの
- ☐ 市民、自治会等からの要望、提案等によるもの
- ☐ 職員提案等によるもの
- ☐ その他

（理由：　　）

事業概要

（継続）外国人英語指導講師業務委託事業　5，184千円

（継続）森林環境学習「やまのこ」事業　1，020千円

（継続）ホールの子事業　346千円

（継続）小学３・４年生校外学習バス借上げ事業　６９２千円

（継続）義務教育教材備品購入費（教材備品・図書）　7，５７４千円

（継続）日本スポーツ振興センター負担金　2，８１５千円

主な事業費内訳

節番号・名称	細々節名称等	金額
11　需用費	教材消耗品費	2,038
13　委託料	外国人英語指導講師業務委託	5,184
14　使用料及び賃借料	森林環境学習「やまのこ」事業バス借上げ料	860
14　使用料及び賃借料	ホールの子事業バス借上げ料	346
14　使用料及び賃借料	小学３・４年生校外学習バス借上げ料	692
18　備品購入費	義務教育教材	3,574
18　備品購入費	図書等備品	4,000
19　負担金補助及び交付金	日本スポーツ振興センター負担金	2,815

会計	一般会計	議案ページ	238～241

（単位：千円）

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費

事業名	就学援助事業	所管課・室	学校教育課

区　分	金　額	財源内訳						
		国庫支出金	県支出金	分担金負担金	使用料手数料	その他	市債	一般財源
本年度予算額	21,111	1,808	0	0	0	0	0	19,303
前年度予算額	20,787	1,309	0	0	0	0	0	19,478
増　減	324	499	0	0	0	0	0	▲175

特定財源の説明

（国）要保護児童就学援助費補助金　　３１千円
（国）特別支援教育就学奨励費補助金　１，７７７千円

目的・期待する効果

経済的な理由によって就学困難と認められる児童及び特別支援学級に就学する児童の教育経費の援助を行うことで、保護者の経済的不安を取り除き、小学校における義務教育就学の円滑な実施を目的としています。

事業実施に至る経緯・背景

- ☑ 法令等によるもの
- ☑ 市総合計画等によるもの
- ☐ 議会からの要望、提案等によるもの
- ☐ 市民、自治会等からの要望、提案等によるもの
- ☐ 職員提案等によるもの
- ☐ その他

（理由：　　）

事業概要

（継続）要保護及び準要保護児童就学援助費　　１７，３６８千円
　経済的な理由によって就学困難と認められる児童の教育経費の援助を行います。

（継続）特別支援教育就学奨励費　　３，７４３千円
　特別支援学級に就学する児童の教育経費の援助を行います。

主な事業費内訳

節番号・名称	細々節名称等	金額
20　扶助費	要保護及び準要保護児童就学援助費	17,202
20　扶助費	特別支援教育就学奨励費	3,743

会計	一般会計	議案ページ	244～247

（単位：千円）

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費

事業名	教育振興対策推進事業	所管課・室	学校教育課

区　分	金　額	財　源　内　訳						
		国庫支出金	県支出金	分担金負担金	使用料手数料	その他	市債	一般財源
本年度予算額	23,926	0	315	746	0	0	0	22,865
前年度予算額	29,779	0	313	655	0	0	0	28,811
増　　減	▲ 5,853	0	2	91	0	0	0	▲ 5,946

特定財源の説明

（県）自治振興交付金　「チャレンジウィーク事業」　315千円
（負）日本スポーツ振興センター負担金　　746千円

目的・期待する効果

中学校において、学校行事・授業等で必要となる消耗品・備品等の購入をし、円滑な実施を目指します。

事業実施に至る経緯・背景

- ☑ 法令等によるもの
- ☑ 市総合計画等によるもの
- ☐ 議会からの要望、提案等によるもの
- ☐ 市民、自治会等からの要望、提案等によるもの
- ☐ 職員提案等によるもの
- ☐ その他

（理由：　　）

事業概要

（継続）外国人英語指導講師業務委託事業　　９，４６１千円

（継続）　「チャレンジウィーク」事業　　454千円

（継続）　義務教育教材備品購入費（教材備品・図書）　　４，８５３千円

（継続）　日本スポーツ振興センター負担金　　１，443千円

（継続）　県体等各種大会出場補助金　４，２００千円

主な事業費内訳

節番号・名称	細々節名称等	金額
11　需用費	教材消耗品費等	1,677
13　委託料	外国人英語指導講師業務	9,461
18　備品購入費	義務教育教材	2,453
18　備品購入費	図書等備品	2,400
19　負担金補助及び交付金	日本スポーツ振興センター負担金	1,443
19　負担金補助及び交付金	県体等各種大会出場補助金	4,200

会計	一般会計	議案ページ	246～247

（単位：千円）

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費

事業名	就学援助事業	所管課・室	学校教育課

区　分	金　額	財　源　内　訳						
		国庫支出金	県支出金	分担金負担金	使用料手数料	その他	市債	一般財源
本年度予算額	17,921	1,433	0	0	0	0	0	16,488
前年度予算額	19,032	1,168	0	0	0	0	0	17,864
増　　減	▲ 1,111	265	0	0	0	0	0	▲ 1,376

特定財源の説明

（国）要保護児童就学援助費補助金　１１４千円
（国）特別支援教育就学奨励費補助金　１，319千円

目的・期待する効果

経済的な理由によって就学困難と認められる生徒及び特別支援学級に就学する生徒の教育経費の援助を行うことで、保護者の経済的不安を取り除き、中学校における義務教育就学の円滑な実施を目的としています。

事業実施に至る経緯・背景

- ☑ 法令等によるもの
- ☑ 市総合計画等によるもの
- ☐ 議会からの要望、提案等によるもの
- ☐ 市民、自治会等からの要望、提案等によるもの
- ☐ 職員提案等によるもの
- ☐ その他

（理由：　　）

事業概要

（継続）要保護及び準要保護児童就学援助費　１５，１４４千円
　経済的な理由によって就学困難と認められる生徒の教育経費の援助を行います。

（継続）特別支援教育就学奨励費　　２，777千円
　特別支援学級に就学する生徒の教育経費の援助を行います。

主な事業費内訳

節番号・名称	細々節名称等	金額
20　扶助費	要保護及び準要保護児童就学援助費	15,144
20　扶助費	特別支援教育就学奨励費	2,777

会計	一般会計	議案ページ	226～229

（単位：千円）

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	02	教育委員会事務局費

事業名	教育振興対策推進経費	所管課・室	学校教育課　教育センター

区　分	金　額	財　源　内　訳						
		国庫支出金	県支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	その他	市債	一般財源
本年度予算額	5,914	0	0	0	0	50	0	5,864
前年度予算額	3,942	0	0	0	0	0	0	3,942
増　　減	1,972	0	0	0	0	50	0	1,922

特定財源の説明

（寄）小さな詩人たち事業寄付金　５０千円

目的・期待する効果

教育研究所事業として、研究及び研修を行い、市内の教育活動のレベル向上を図ります。
また、教職員研修や、市内の小中学校の教育に対する研究活動を行います。

事業実施に至る経緯・背景

- ☐ 法令等によるもの
- ☑ 市総合計画等によるもの
- ☐ 議会からの要望、提案等によるもの
- ☐ 市民、自治会等からの要望、提案等によるもの
- ☐ 職員提案等によるもの
- ☐ その他

（理由：　　）

事業概要

（継続）小さな詩人たち事業　　55千円

（継続）青少年美術展事業　　３９６千円

（新規）教職員・保護者人権研修　450千円

（新規）D1だじゃれグランプリ事業　２０２千円

（新規）社会科副読本「わたしたちの湖南市」作成事業　１，６２０千円
3年に一度改訂。市内の小学校3・4年生の社会科学習において、自分たちが居住している地域の様子を知り、その中で人々の生活や地域の発展に尽くした先人の働きについて深く学べるようにします。

主な事業費内訳

節番号・名称	細々節名称等	金額
7　賃金	教育研究所長賃金	2,571
8　報償費	教職員・保護者人権研修講師謝金等	440
8　報償費	D1だじゃれグランプリ事業　審査員謝金・参加賞等	103
11　需用費	社会科副読本「わたしたちの湖南市」印刷製本費	1,620

会計	一般会計	議案ページ	228～231

（単位：千円）

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	03	教育相談費

事業名	教育相談経費	所管課・室	学校教育課　教育センター

区　分	金　額	財　源　内　訳						
		国庫支出金	県支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	その他	市債	一般財源
本年度予算額	11,885	0	563	0	0	0	0	11,322
前年度予算額	12,356	0	560	0	0	0	0	11,796
増　　減	▲ 471	0	3	0	0	0	0	▲ 474

特定財源の説明	（県）自治振興交付金（スクーリングケアサポーター事業）　　563千円
目的・期待する効果	市内の不適応児童・生徒に対し、適切な補助教育を提供し、教育の機会均等を遵守します。不登校児童・生徒の受け入れ、サポート機関としての役割を果たします。
事業実施に至る経緯・背景	☐ 法令等によるもの ☑ 市総合計画等によるもの ☐ 議会からの要望、提案等によるもの ☑ 市民、自治会等からの要望、提案等によるもの ☐ 職員提案等によるもの ☐ その他 （理由：　　）

事業概要

（継続）スクーリングケアサポーター事業　　１，４８０千円
市内の小学校にスクーリングケアサポーターを派遣し、支援を必要とする児童に対しての学習補助や生活指導、別室での対応を行います。

（継続）ふれあい相談室事業　　１０，405千円
- 市内の小中学校で長期にわたる不登校状態の児童・生徒の訪問
- 適応指導教室の運営
- 再登校を目指したケース会議や連絡会の実施
- 教育相談機関としての電話相談や来室相談

主な事業費内訳

節番号・名称	細々節名称等	金額
7　賃金	ふれあい相談室　室長・指導員賃金	9,273
8　報償費	スクーリング・ケアサポーター謝礼	1,480
8　報償費	登校拒否児童生徒相談謝礼等	956

会計	一般会計	議案ページ	230～231

（単位：千円）

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	03	教育相談費

事業名	特別支援教育経費	所管課・室	学校教育課　教育センター

区　分	金　額	財　源　内　訳						
		国庫支出金	県支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	その他	市債	一般財源
本年度予算額	1,323	0	0	0	0	0	0	1,323
前年度予算額	1,489	0	0	0	0	0	0	1,489
増　　減	▲ 166	0	0	0	0	0	0	▲ 166

特定財源の説明	
目的・期待する効果	「個別の指導計画」を軸にした指導体制をより充実させていくために、専門家によるサポート体制を構築することにより、体制の特別支援教育の推進を図ります。年間を通じて計画的な就学支援を行っており、効果的な支援体制の構築に役立ちます。

事業実施に至る経緯・背景

- ☐ 法令等によるもの
- ☑ 市総合計画等によるもの
- ☐ 議会からの要望、提案等によるもの
- ☑ 市民、自治会等からの要望、提案等によるもの
- ☐ 職員提案等によるもの
- ☐ その他

（理由：　　）

事業概要

（継続）LD巡回相談員配置事業　　1，323千円

特別支援教育の推進のために、「個別の指導計画」と「個別支援移行計画」を軸にした指導体制をより充実させていきます。そのサポートのため、「巡回相談」と「専門家による事例検討指導会議」を実施します。「巡回相談」では、巡回相談員が市内の校園を訪問し、教職員の研修・校内委員会への参加・事例の相談等を行います。また、関係機関への指導助言等を行うこととします。

「専門家による事例検討指導会議」では、特別支援教育コーディネーター会議と連携して、特別支援教育の推進のための指導的な役割を果たす。専門家会議には、医師、巡回相談員も出席し、医療との連携が必要なケースや、アセスメントから考えられる指導や配慮について検討することとします。

◆学習障がいや発達障がいの事例については、「校園内委員会」において実態把握等を行うとともに、「専門家による事例検討指導会議」において指導方法や体制についてのスーパーバイズを行います。

◆学校では特別な支援を要する子どもを見極め、担任が中心となって「個別の指導計画」を作成し、具体的な支援を行います。

◆「巡回相談」では特別支援教育コーディネーターを窓口にして、担任や学校、関係機関への指導助言等を行います。

主な事業費内訳

節番号・名称	細々節名称等	金額
8　報償費	LD巡回相談員謝礼	1,263

会計	一般会計	議案ページ	240～241

（単位：千円）

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費

事業名	ことばの教室管理運営経費	所管課・室	学校教育課　教育センター

区　分	金　額	財　源　内　訳						
		国庫支出金	県支出金	分担金負担金	使用料手数料	その他	市債	一般財源
本年度予算額	14,617	0	0	0	0	0	0	14,617
前年度予算額	15,381	0	0	0	0	0	0	15,381
増　　減	▲764	0	0	0	0	0	0	▲764

特定財源の説明

目的・期待する効果

ことばの教室は、「湖南市の発達支援の主力政策として、湖南市内の発達支援が必要な児童に適切な教育の場を提供し、ライフステージにまたがる発達支援の一環としての成果を上げることが期待できます。

事業実施に至る経緯・背景

- ☐ 法令等によるもの
- ☑ 市総合計画等によるもの
- ☐ 議会からの要望、提案等によるもの
- ☑ 市民、自治会等からの要望、提案等によるもの
- ☐ 職員提案等によるもの
- ☐ その他

（理由：　　）

事業概要

（継続）ことばの教室事業　１３，７３７千円
　湖南市教育センター設置条例の規定に基づき、障がいなどの課題のある市内の幼児・児童及び生徒に対し、特別な支援教育等を一人ひとりに合わせた適切で継続的な教育サービスとして実施し、個別の指導計画等の立案やそれを活用した指導を行います。

（新規）ことばの教室（石部教室）開設事業　　880千円
　石部小学校建て替え工事に伴い、中学校区内になかったことばの教室（石部教室）を新校舎内に設置し、運営上必要な人員を配置します。

主な事業費内訳

節番号・名称	細々節名称等	金額
7　賃金	ことばの教室指導員賃金	13,250
11　需用費	ことばの教室（石部教室）消耗品費	80
18　備品購入費	ことばの教室（石部教室）施設備品	800